

2021年2月12日

各 位

会社名 株式会社 アイスタイル
 代表者名 代表取締役社長 吉松 徹郎
 (コード番号：3660 東証第一部)
 問合せ先 取締役 CFO 菅原 敬
 (TEL. 03-5575-1260)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年8月13日に公表した2021年6月期の通期連結業績予想を一旦取り下げることにいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2020年7月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 37,200	百万円 50	百万円 △70	百万円 △200	円 銭 △3.06
今回修正予想 (B)	-	-	-	-	-
増減額 (B - A)	-	-	-	-	
増減率 (%)	-	-	-	-	
(参考) 前期連結業績 (2020年6月期)	30,564	△2,325	△2,438	△5,020	△76.94

2. 修正の理由

2021年6月期第2四半期決算までにおいて、営業利益は社内計画を上回って推移したものの、売上高については依然として「新型コロナウイルス(COVID-19)」(以下、「新型コロナウイルス」という。)の影響により、進捗が遅れが生じております。昨年8月に策定しました期初計画の前提では、連結全体において第2四半期で新型コロナウイルスの影響が収束する見込みであったのに対して、実際には感染者数の増加や緊急事態宣言が再度発令されるなどし、社会全体において策定時より景況感が悪化しました。これにより、収益の柱であるOn Platform事業や店舗を有するBeauty Service事業が、大きく影響を受けました。

これら①上期における当社業績の実績や、②現状の新型コロナウイルスの感染状況が収束していないことを鑑みた結果、期初計画の前提から状況が大きく変化し、現時点においては当社業績への影響を合理的に算定するのは困難なことから、期初予想を一旦取り下げることといたしました。

また、修正後の業績予想につきましては、合理的に算出できた段階で速やかに開示いたします。

<通期業績予想における計画の前提条件と実績で乖離が発生した主な理由>

・On Platform事業

コスト削減により収益性を改善するも、第2四半期で新型コロナウイルスの影響が収束することで業績が前期第3四半期の水準まで戻る見込みに対して、感染拡大の影響によりクライアントである化粧品ブランドの予算保守化が続き、広告・ソリューションサービス及びブランドオフィシャルの売上高において乖離が発生しました。

・Beauty Service事業

店舗においてコスト削減による大幅な赤字圧縮に成功するも、第2四半期で新型コロナウイルスの影響が収束する見込みに対して、感染拡大の影響により特に大型旗艦店を含む都市部の店舗における客足の戻りがコロナ前と比べて6,7割と鈍く、売上高において乖離が発生しました。

・Global事業

当該事業全体ではコスト削減により利益面は改善したものの、当該事業において大きく割合を占める香港店舗におきましては、第2四半期で新型コロナウイルスの影響を受ける前である前期第2四半期の水準まで戻る見込みに対して、現地での感染拡大の影響によりインバウンド需要が依然として蒸発した状況であるため、売上高において乖離が発生しました。

以 上